

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	英語英文	学科 専攻
派遣先大学 (国)	Jaume I 大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Studies		
報告書提出日	2019年9月29日		
留学予定期間	2019年9月～2020年1月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 30000 (円) /合計
 航空券代： 180000 (円) /合計
 ビザ申請関連費： 8020 (円) /合計
 その他（海外保険）： 30000 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

3月上旬にスペイン語のオンラインテストの証明と個人情報をメールで留学先に送る。

5月中旬に現地の大学が提供するホームステイプログラムでホームステイ先を決める。

6月中旬に留学許可証が大学に届き、VISA申請。同時に航空券予約する。

7月下旬にVISAの申請が通り、VISA取得する。

留学出発前に帰国した先輩に連絡を取り、現地の情報を聞く。帰国した先輩から歯の治療を済ませた方がよいといわれたので歯の治療を済ませた。

1.2. 渡航について

行きは成田空港からマドリード直行便の飛行機を利用した。マドリード着が18時だったので、マドリードで一泊した。宿は一泊35ユーロくらいのホステルにとまった。

マドリードから現地には高速列車を利用した。2時間半くらいで着いた。60ユーロくらいかかった。

現地の駅にホストファミリーが迎えに来てくれた。駅から家までは10分くらいかかった。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

5月中旬くらいに現地の大学からホームステイ案内メールが届くのでそこから自分に合ったホームステイ先を選択する。アンケートに答え、その中から自分の要望を満たしている家族を現地の大学がマッチングしてくれる。私は、子供がいる家庭がよかったので子供がいる家族、大学の近く、英語が話せるなどを条件にして選んだ。

ホームステイ先が決定したらホストマザーと渡航する前からメールでやり取りをした。そこで毎月いくら支払えばよいのか聞いた。

2.2. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

9月2日留学生全員が集まり jaume 大学の説明をうける。午後からキャンパスツアー。現地の学生がキャンパスを案内してくれる。

9月4日履修登録説明会。パソコンでの履修登録の仕方を留学担当の先生が説明してくれる。

jaume 大学での履修登録は少し複雑で、自分が受けたい授業のコードをまず自分の担当の学部の tutor に送り learning agreement を許可してもらってからパソコンで履修登録する。履修登録期間は1週間ほど。

履修登録が完成すると学生許可証を手に入れることができる。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

留学の目的は将来海外で働きたいため語学力向上。具体的には帰国後 DELE B1 取得。また、TOEIC800 点取得。語学力向上はもちろん現地の方に日本のことを知って少しでも関心を持ってもらえるように日本の魅力を現地の人に伝える。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

第二外国語で中国語をとっていたので、留学が決まってからスペイン語初級の授業を取った。授業だけでは進みが遅かったので、自分で単語帳を買ってスペイン語のボキャブラリーを増やしたり、参考書を買って独学で少し勉強した。勉強し始めるのが遅く、スペインでも英語は通じると思い付けた部分があったので来る前にもう少し勉強時間を確保しとくべきだった。

3.3. 今月の学習・研修目標

インテンシブスペイン語クラスで学んだ基本的な文法と日常生活で使われる単語をひたすら繰り返し覚えてきた。例えば、スーパーに売っている物の名前や数字、お店での注文の仕方など。またその日に習ったことを積極的に現地に人に声をかけて、使ってみる。そうすることでより早く記憶に残ると思った。まだ会話をするとき自分の知っているわずかな単語を使ってでしか喋ることができていないのでボキャブラリーを増やして、相手との会話をより円滑に進められるようにしたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Oral English(9:00-10:30) Literature(11:00-12:30) Spanish(15:30-19:00)
火	Writing(13:00-14:30) Spanish(15:30-19:00)
水	Literature(11:00-12:30) Oral English(13:00-14:00) Spanish(15:30-19:00)
木	Writing(13:00-14:30) Spanish(15:30-19:00)
金	Spanish(15:30-19:00)

土	
日	

4.2. 授業について

授業名：Oral English (90分/1コマ)週二回

授業の概要：主に Listening, Speaking, Grammar を中心に学ぶ。Speaking は日常の生活でよくみられるシチュエーションを想定したものを多く扱う。

授業の特徴：Listening を扱う授業の日は授業の前半に問題を解いて後半で答え合わせをする。このクラスは、基本的に課題は出されないが復習が必要である。

授業名：Introduction to British Literature(90分/1コマ)週二回

授業の概要：イギリスの Old English, Middle English, Elizabethan の3つのテーマを扱っている文学作品を読み解いていく。

授業の特徴：基本的に時代ごとに有名な著者の作品を読み解いていく。文学の標記の特徴を考えたり、作品に関する映像を見る。授業内で文学作品を読み問題を解いていくが、ある程度イギリス文学についての知識がないと難しいと感じる授業である。授業の前にその日に扱う文学作品の概要を読んでおくと少し授業が理解しやすい。

授業の内容：筆記試験、プレゼンテーション

授業名：Writing in English Basic Texts

授業の概要：Essay の正しい書き方を学び、それを参考にしながら Essay を書く。

授業の特徴：Essay を書く上で必要な知識を入念に学ぶ。学んだことを参考にして1セメスターで3つ Essay を書いて提出する。自分で書いた Essay は教授に添削され再度新しい物を提出する。この授業は Writing の授業であるが英文科の Writing の授業よりも難易度が高く、膨大な知識を活用しなければいけない。

授業名：Intensive Spanish Course

授業の概要：スペイン語の基本的な文法事項から日常生活で使われる単語まで勉強する。

授業の特徴：3週間月曜日から金曜日まで3時間の集中的なスペイン語のクラスである。先生はスペイン語で授業を行う。基本的にゆっくり丁寧に教えてくれるが、一回の授業で膨大な量の新しい単語や文法事項を学ぶので復習するのがとても大変である。

授業の内容：Reading, Listening, Speaking を中心としたテストが行われる。

4.3. 予習・復習・自習について

授業名：Oral English

基本的に予習をする必要はないが Grammar を勉強した日は復習を忘れないようにしている。

授業名：Introduction to British Literature

その日に扱う文学作品の内容を、一通り目を通して授業に参加する。そうすることで、授業内で取り組む課題が少しわかりやすく感じる。また復習は授業内で理解できなかった部分を読み直して作品の内容と著者の特徴を覚えるようにしている。

授業名：Writing in English Basic Texts

この授業では、予習は特にないが授業で学んだことをいかして Essay を書くので、Essay を仕上げるうえで必要な接続詞や文法事項を身につけなければいけないため自主的かつ積極的に取り組んでいる。

授業名：Intensive Spanish Course

この授業は一回の授業で膨大な単語と文法について学ぶため積極的に復習に取り組まなければいけない。授業終了後にメールで学習した内容の PDF が送られてくるのでそれを参考にしながら復習を行う。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	ホームステイ（その他： ）
----	---------------

私が住んでいる Castellon という町はほとんどのお店が日曜日は休みなので日曜日に外出して食事しようと思ってもなかなかできないのが不便です。また、夕飯が基本的に夜の 10 時くらいに食べるのでこっちに来てから慣れるまで苦労しました。夜の 7 時くらいに夕食を食べようと思ってもほとんどのお店が 9 時くらいから営業を開始するためそれまで待たないといけません。

ホームステイ先でいただく夕食は基本野菜がほとんど入っていない料理が多いので野菜をたくさん食べたいと思ったら外で外食するようにしています。

日本にいるときは自分の語学力に自信がなくて外国人に話しかけることがほとんどできなかったが今は食事をした店の店員さんやバス待ちをしている現地の人に声をかけてコミュニケーションを図ろうとしている。

5.2. 課外活動について

週末に留学生を対象としたアクティビティツアーに参加したり、日本人にとっても親切な Jaume 大学の教授が山や海、サイクリングに連れてってくれる。また、日曜日にはホストマザーの知り合いの家に連れていってもらいパエリアを作ってスペインらしい休日の過ごし方をしている。

大学の授業で知り合った友達を誘って夜ご飯を食べに行ったり、バレンシアを案内してもらったりしている。

Jaume 大学はスポーツの施設が充実しているのでスポーツカードを作って現地の学生と一緒にスポーツを楽しんでいる。スポーツ施設を利用することで新しいスペインの友達を作ることができてとても良い。

5.3. 現在までの感想

語学力について

私は、スペイン語を勉強する上で知っているボキャブラリーの数が少なすぎると感じて今はボキャブラリーを増やすことに専念している。もちろん Intensive Spanish Course で学んだ文法を自分のものに付けられるように毎日復習を行っている。また、スペイン語の音楽を移動時間に聞いて歌詞の意味が何なのか考えるようにしている。

気持ちの面について

正直、スペインに到着した日、スペイン人の陽気すぎる性格と自分のスペイン語の話せない状況が辛くていきなり日本が恋しくなって泣いたのを覚えています。でも、今は何事も前向きに物事を考えるようになり、少しつまずいても前向きに物事を考えられるようになりました。きっとスペイン人の温かくて、前向きな性格に影響を受けているんだと思います。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (11月)

所属	外国語学部	英語英文	学科 専攻
派遣先大学 (国)	JaumeI 大学 (スペイン)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Studies		
報告書提出日	2019年 11月 27日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

留学の目的は将来海外で働きたいため語学力向上。具体的には帰国後 DELE B1 取得。

TOEIC800 点取得。語学力向上はもちろん現地の方に日本のことを知って少しでも関心を持ってもらえるように日本の魅力を現地の人に伝える。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

スペイン語のインテンシブコースを終えて少しずつボキャブラリーが増えて 9 月よりも日常会話は少しずつ理解できるようになってきた。けれどまだまだ会話を聞き取る力が足りないので積極的に家族とコミュニケーションを図り問題なく会話ができるようになりたい。また、授業で学んだ単語や単語帳を参考にして日常会話の質を向上させたい。

1.3. 今月の学習・研修目標

スペイン語では点過去と線過去を中心に勉強している。覚える情報量が膨大なため、中途半端に覚えるのではなく一週間でどれだけ文法事項や単語帳を覚えるか週のはじめに自分の目標をたて週のおわりに達成できてるか確認していきたい。また学習したことを家で会話として積極的に使っていきたい。

2. 学修について

2.1. 授業について

授業名：Oral English (90 分/1 コマ)週二回

授業の概要：主に Listening Speaking Gramer を中心に学ぶ。Speaking は日常の生活でよくみられるシチュエーションを想定したものを多く扱う。

授業の特徴：Listening を扱う授業の日は授業の前半に問題を解いて後半で答え合わせをする。このクラスは基本的に課題は出されないが復習が必要である。また grammar は普通の文法事項を学ぶよりもことわざやイディオムを学習する。

授業名：Introduction to British Literature(90分/1コマ)週二回

授業の概要：イギリスの Old English, Middle English, Elizabethan の3つのテーマを扱っている文学作品を読み解いていく。

授業の特徴：基本的に時代ごとに有名な著者の作品を読み解いていく。文学の標記の特徴を考えたり、作品に関する映像を見る。授業内で文学作品を読み問題を解いていくが、ある程度イギリス文学についての知識がないと難しいと感じる授業である。授業の前にその日に扱う文学作品の概要を読んでおくと少し授業が理解しやすい。

授業の内容：筆記試験 40%、プレゼンテーション 60% プレゼンテーションは4人から5人のグループを作って author と作品、作風などを自分たちでパワーポイントにまとめる。

授業名：Writing in English Basic Texts

授業の概要：Essay の正しい書き方を学び、それを参考にしながら Essay を書く。

授業の特徴：Essay を書く上で必要な知識を入念に学ぶ。学んだことを参考にして1セメスターで3つ Essay を書いて提出する。自分で書いた Essay は教授に添削され再度新しい物を提出する。この授業は Writing の授業であるが英文科の Writing の授業よりも難易度が高く、膨大な知識を活用しなければいけない。学んでいることは基本的なことであるが添削がとても厳しいため一度の Essay を仕上げるのにとても時間がかかる。

授業名：Semi Intensive Spanish Course

授業の概要：スペイン語の基本的な文法事項から日常生活で使われる単語まで勉強する。

授業の特徴：月曜日、水曜日、金曜日 3時間の集中的なスペイン語のクラスである。先生はスペイン語で授業を行う。基本的にゆっくり丁寧に教えてくれるが、一回の授業で膨大な量の新しい単語や文法事項を学ぶので復習するのがとても大変である。授業中だけではまとめきれないので家に帰っての復習が重要である。

授業の内容：Reading Listening Speaking を中心としたテストが行われる。

2.2. 予習・復習・自習について

授業名：Oral English

基本的に予習をする必要はないが grammar を勉強した日は復習を忘れないようにしている。

授業名：Introduction to British Literature

その日に扱う文学作品の内容を、一通り目を通して授業に参加する。そうすることで、授業内で取り組む課題が少しわかりやすく感じる。また復習は授業内で理解できなかった部分を読み直して作品の内容と著者の特徴を覚えるようにしている。

授業名：Writing in English Basic Texts

この授業では、予習は特にないが授業で学んだことをいかして Essay を書くので、Essay を仕上げるうえで必要な接続詞や文法事項を身につけなければいけないため自主的かつ積極的に取り組んでいる。

授業名：Semi Intensive Spanish Course

この授業は一回の授業で膨大な単語と文法について学ぶため積極的に復習に取り組まなければいけない。授業終了後にメールで学習した内容の PDF が送られてくるのでそれを参考にしながら復習を行う。

2.3. 語学力について

スペイン語は少しずつ理解できるようになってきているが、点過去と線過去の活用を覚えるのが大変で日常会話で使いこなせるようにまではなっていない。家族やルームメイトに積極的に話しかける。しかし質問されたときに理解できない時、まだまだスペイン語を理解していないと痛感する。リスニング力を鍛えるために YouTube でスペイン語の説明をしている動画を見たり、同じスペイン語の曲を何度も聞いて日頃からできることはするようにしている。

新しい情報と復習を反復しながら勉強していかないと学習したことを忘れてしまうため、その調整が難しい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	ホームステイ（その他： ）
----	---------------

ホストマザーが、学校がある日は毎日サンドイッチを作ってくれるが、授業が夜の 7 時まである時は軽食を買ったりコーヒーを飲んだりして無駄遣いをしてしまう。10 月の終わりからルームメイトが 1 人増えた。彼女はコロンビア出身でスペイン語が母国語なのでいつも会話の練習を手伝ってくれる。

ホストマザーは月曜日から土曜日まで働いており、休みがほとんどなく家族でどこかに出かけることがないので少し残念である。

また、ホストマザーが忙しいのもあるが夕食が手抜きなものが多くて栄養が偏りがちになってしまう。大学までは毎日自転車で 20 分ほどかけて通っている。私のホームステイ先は割と大学から離れたところにあるので通学が大変である。

3.2. 課外活動について

スペインの祝日を利用してフランスやスペイン国内を旅行した。スペインからヨーロッパ各国に行く飛行機の値段はとても安くて近くて便利である。また、UJI の先生が日本語をスペイン人に教える講座を開いてくれて初めて外国人に日本語を教えて、日本語を教える難しさを感じた。

また、大学で仲良くなった先生の家にお邪魔してパエリアと一緒に作ってスペインの家庭的な日曜日の過ごし方を友達と一緒に楽しんだ。

バレンシアまで電車で、一時間で行けるので週末に友達とバレンシアに出かけて教会や博物館などバレンシアの有名な建築物を見に行ったりもしている。

3.3. 現在までの感想

気持ちの面について

家族が夕食を食べてるときに会話をしているが早く話されると何の話をしているのか理解できない時が多く会話についていけない。それが、自分のスペイン語力がないと思い自信を失うときもある。スペイン語を勉強しているがなかなかスペイン語力がついてきている様に思えずたまに勉強に対しての意欲がなくなるときがある。しかし、陽気なスペイン人が励まし助けてくれるので頑張る原動力になっている。

語学力について

少しずつ会話ができるようになってきて買い物に出かけたり、レストランで何かを注文する際にはほとんど困ることはないがまだ世間話や長い会話をされると分からなくなってしまうことがある。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	英語英文学科	3 年次
派遣先大学 (国)	Jaume I 大学 (スペイン)			
所属プログラム・ 学部・研究科	English Studies	履修言語	英語 スペイン語	
留学期間	2019 年 9 月～2020 年 1 月			
報告書提出日	年 月 日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall Semester	9 月 9 日 ～12 月 20 日 (15 週)	1 月 7 日 ～1 月 22 日	履修したい科目を自分で決めたら留学担当センターに行き、自分の担当のチューターを聞く。その先生にメールで連絡をとり直接会って自分が登録したい科目を登録してもらう。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall Semester	Oral English	45 時間	講義は月曜日と水曜日に 1 時間半。主に英語の文法とリスニングを中心に授業が行われた。文法について勉強する際はイディオムや前置詞の使われ方などを勉強し、基本的な文法事項についてはほとんど触れなかったのであらかじめ知っておく必要がある。期末試験はリスニングと今まで勉強した内容についての問題、スピーキングテストの 3 つである。期末試験を受ける際に課題提出も課される。
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 15(週)	
Fall Semester	Introduction to British Literature	45 時間	講義は月曜日と水曜日に 1 時間半。講義の内容としては 1 回の授業でイギリス文学の作者と作品に触れて授業の最後に作品に関するビデオを見る。冬休み前にグループワークでイギリス文学作者と作品についてパワーポイントとレポートを作成する。期末試験については、今まで勉強した作品と作者を
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 15(週)	

			しっかりと覚える。
Fall Semester	Writing in English Basic Text	45 時間	講義は火曜日と木曜日に 1 時間半。講義の内容としては Essay の正しい書き方について学ぶ。月に一度 300 字ほどの Essay を提出する。期末試験については、今まで習った Essay の書き方を利用した問題がテストとして出る。
		1.5(時間/回) × 2(回/週) × 15(週)	
Fall Semester	Semi intensive Spanish Class	45 時間	スペイン語のクラスは 9 月中旬から 10 月中旬までは月曜日から金曜日まで毎日 3 時間。10 月中旬 12 月中旬までは週に 3 回のクラスになる。授業スピードがとても速く毎日の復習がとても大切である。テスト範囲がものすごく広いため、日頃からコツコツ勉強することがとても大事である。
		3(時間/回) × 5(回/週) × 3(週)	
Fall Semester	Intensive Spanish Class	72 時間	10 月中旬 12 月中旬までは週に 3 回のクラスになる。同じ授業が行われる。
		3(時間/回) × 3(回/週) × 8(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

テストや課題が課される時には提出日やテストの何週間も前からコツコツと勉強していました。また授業を聞きそびれたり、教授が言っていることがよく分からない時は周りにいる友達に尋ねてわからないことを溜めないようにしました。私が取っている授業は宿題が特に出るわけでもなかったので復習をしっかり行いました。スペイン語の予習復習に関しては他の授業と異なり、教科書がなくパワーポイントでの授業だったので自分でスペイン語についてまとめたノートを作成したり暇があったら単語を覚えようとしていました。私にとって留学先の授業はとても level が高くて毎日少なくとも 2 時間は勉強しないと追いついていけないと思いました。

1.4. 語学力について

正直、留学前は全くスペイン語を話せませんでした。スペインに派遣交換の留学が決まって 1 学期だけスペイン語の初級のクラスをとっていましたが元々勉強をしたことがなかったので、スペインに行ってからとても苦労しました。しかし 3 ヶ月過ぎるころには少しずつ相手が言っていることと自分が話したいと思うことを伝えられるようになってきて自分でも語学力が身につけていることが実感できました。留学中の取り組みについては、とりあえずスペイン語のクラスが終わったら毎日図書館にこもって 2 時間くらい勉強しました。また図書館の事務で働いている先生とスペイン語がほとんど話せない時から毎日会話をしてスピーキングの力を向上させました。外に遊びに出かけたり、スーパーに行ったりする時に知らないスペイン語を目にしたらメモを取って自分でオリジナルの単語帳を作って勉強していました。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

Oral English の授業でイディオムや前置詞の使い方を勉強した。それだけでなくリスニングも授業内で行なわれた。この授業によって英語を日常会話で使うときに自分がはっきりと言いたいことを言えるようになった。また留学前と比べると自分の耳が英語の会話に少しずつ慣れてきていることが分かった。Writing の授業では正しい Essey の書き方を学びどのように文を組み立てていけば Fomal な文を作ることができるのか授業を通して学ぶことができた。スペイン語の授業では基本的な文法だけでなく日常会話でよく使われる単語や動詞などを勉強しました。一日の授業で膨大な新しい情報を勉強するので授業内ではメモを取ることで必死でした。でも復習を毎日繰り返していくうちに自分が話したいことがすぐ頭に浮かんでくるようになり現地の人とも積極的にコミュニケーションを図ることができるようになった。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

私は、留学が決まってからスペイン語の授業を履修し始めて、ほぼスペイン語が分からない状況で留学をしました。留学前は、スペイン人も英語は話すことができるだろうと軽い気持ちでいましたが、いざスペインに行ってみるとほとんどの人が英語を話すことができずとても苦労しました。スペイン人は私たちがスペイン語が分からなくても容赦なくスペイン語で話しかけてきます。もしスペインに留学を志望するならスペイン語は必須です！！まずスペイン語の動詞の活用や単語を積極的に留学前から真剣に勉強することを強くおすすめします。少しでもスペイン語に触れておくだけで行ってからの苦労する度合いは変わってくると思います。

もう一つ私は、自分の英語力に自信がなかったため留学し始めたころは外国人と英語で会話することがとても勇気がいりました。留学を志望するなら積極的に国際センターに足を運んで普段から留学生と会話することをおすすめします。

2.3. 留学生活で得られたもの

正直、ここでは書ききれないほど得られたものはたくさんです。留学生活を経て人の暖かさを心から感じました。行きつけのパン屋の店員さんと仲良くなって一緒にお茶したり家に連れていってもらってパエリアをご馳走になったりなどなど。日本人だったら考えられないくらい親切なもてなしをしてくれるスペイン人に今でも感謝しています。またスペイン人は日本人が想像している以上に日本に対して関心が高くびっくりしました。独学で日本語を勉強しているスペイン人の友達が何人もいて、私もよく日本語を彼らに教えていました。もちろん、彼らも私にスペイン語を教えてくれてお互いに勉強しあっていました。言語力だけにとどまらず、人を思いやることを留学生活を通して学ぶことができたと思っています。自分が留学中にしてもらったように留学生で困っている学生がいたら彼らの助けになりたいと思います。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

留学生活での反省点はホームステイ先の家族ともう少し積極的にコミュニケーションを図ればよかったと思いました。ホームステイ先の食事が合わず外でご飯を食べることが多くなってしまい、家にいる時間が少なく家族とも少しずれ違いになっていたと思います。ホームステイをしていたのでもっと家庭に馴染んだほうがよかったです。反省点ではないかもしれませんが、もう少しアニメのことに詳しくあったら良かったのにと考えることは留学中何度もありました。スペインの学生のほとんどが日本のアニメについて知っていて、自分が日本人であると自己紹介すると、まず現地の学生は大抵アニメについて話してきました。もし自分がアニメについて詳しくあったら、その場で話がもっと弾んだと思います。現地の学生と仲良くなるきっかけ作りのためにもアニメを見ておけば良かったと思いました。

留学志望者へのアドバイスは、自分が行きたいと考えている留学希望国の特徴や習慣、文化をあらかじめ調べておくことは大切です。これは自分の経験に基くものなのですが、スペインは夕食を食べるのが一般的に9時から10時くらいです。私は、この習慣を知らずに留学したので最初の2週間は慣れるのに苦労しました。また日曜日はほとんどのお店が閉まってしまう物を買うことすらできません。日本ではすごく当たり前なことが海外に出てみると全く当たり前ではなかったりします。事前に現地の情報を知っていれば留学生活もよりスムーズになり、カルチャーショックも緩和されると思います。

2つめのアドバイスは積極的に現地の人とコミュニケーションを図ることです。スペイン人は基本的にみんな親切です。私も全くスペイン語は話せませんでした。現地のスペイン人は私のつたないスペイン語を理解してくれようとしていました。自分が言語を学ぶ意欲があることを誰かに示すことはとても大事です。一緒に会話を続けるうちに自分の言語力が向上していることも感じ、また彼らとも仲良くなれます。仲良くなったらホームパーティーに来ない？や家でお昼食べていかない？と頻りに誘ってくれて、そこでまた交友関係が広がります。留学し始めたころはスペイン人の人と人の距離の近さに驚くこともありました。それがきっかけで帰りたいと思うことも何回もありました。でも自分の語学力に自信がなくて黙っていたら何も始まりません。彼らは話をすることが人一倍好きな人たちです。何か一言声をかけて話して、そこから素晴らしい友情関係を築けるチャンスがあるかもしれません！！

そのようなことも含めて現地の人と積極的にコミュニケーションを図ることはとっても重要であると思います。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年2月13日

所 属	外国語学部	英語英文学科	3 年次
派遣先大学	Jaume I 大学		5 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	娘二人と母親とコスタリカ出身のルームメーター人 キッチンリビング共有 浴槽 トイレ別 自分の部屋一部屋
3	入居時手続き	派遣大学のホームステイプログラムに応募し、自分に合った家族を選択。連絡先を交換してやり取りして入居。
4	費用 (月額)	(460 ユーロ) (食費 食費含む/月)
5	支払方法	月ごとに現金で支払い
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	徒歩 5 分のところにスーパーとトラム乗り場があり移動が簡単である。
9	アクセス	大学から自転車で 25 分、トラムで 15 分のところにある。晴れてる日は自転車で大学まで通う。トラムは一回 1.5 ユーロである。
10	留学中の住居に関して アドバイス	ホームステイをすると現地の生活を肌で感じるできるのでオススメです。

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地で SIM カードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	空港で一番初めに SIM を購入し、その後は毎月町の中心にある携帯ショップでギガバイトをチャージしていた。
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1 ヶ月の平均)		
1	宿舍費	460 (ユーロ) /月
2	食費	280 (ユーロ) /月
3	交通費	50 (ユーロ) /月
4	通信費	25 (ユーロ) /月

5	娯楽費	180 (ユーロ) /月
6	図書費	15 (ユーロ) /合計
7	学用品 (教科書など)	15 (ユーロ) /合計
8	被服費	30 (ユーロ) /合計
9	医療費	15 (ユーロ) /合計
10	雑費・その他	5 (ユーロ) /合計

上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)

11	出願料・宿舎デポジット	3万 (円) /合計
12	ビザ申請関連費	8千 (円) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	18万 (円) /往復
14	その他	(通貨入力) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	22万 (円) /合計

お金の持って行き方

16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 2万円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名: 三井住友銀行) <input checked="" type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	していない

IV. 保険・医療について

1	海外旅行 (留学) 保険の種類	() か月分で (円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか?	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか? 理由はなんですか?	風邪薬 (せき、鼻水) はあったら便利です。風邪をこじらせる前にしっかりと予防してくれる効果があり風邪を長引かせないと思ったからです。

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	薬、化粧水、コンタクト、コンタクト洗浄液、生理用品、衣服、下着、パソコン、海外対応プラグ
2	現地で購入したもの
	衣服、文房具、シャンプー、リンス、ボディソープ
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
	だしの素など日本の調味料

VI. 留学先で困ったこと

まず、現地の生活や文化に慣れることにとっても苦労しました。スペインでは夕飯を夜の9時半に食べるので日本との生活リズムが異なるので対応するのに一ヶ月くらいかかりました。またスペイン語がほとんど話せなかったのが家族に自分が思っていることや伝えたいことをいうことができずホームシックになったり、精神的に不安定になる時もありましたが自分が努力するしか方法はないと思ったので気持ちを切り替えました。また、公共施設に出かけたり、電車やトラムに乗ったりする時アジア人であるため周りの人が自分のことをジロジロ見てきたり少し差別的に扱われて嫌な気分になる事もありました。一番困ったことは、自分が「日本人である」と自己紹介すると現地の学生が日本のアニメについて楽しそうに話しかけてくれますがほとんど会話についていけなくて「本当に日本人なの?」と聞かれることです。スペイン人は日本のアニメが大好きで、日本人よりも日本のアニメについて知っていてこの話題になるといつも話についていけず、困っていました。正直、大変だと感じたり苦労することは留学中何度も経験しましたが、自分の考え方や、やる気次第ですべて良い方に考えることができ、行動できると思います。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

留学に行きたい！！と強く思う気持ちはとても大切です。私も留学に行こうと決断するまではとても優柔不断でした。しかし、行きたかったのに行けなかったと後悔はしたくなかったので派遣交換留学に挑戦しました。もちろん留学を考えている方は国際センターに通って積極的に留学生とコミュニケーションを図ることをオススメします。日本にいる間にネイティブスピーカーの速くてテンポの良い英語に少しでも慣れておけば留学先でも物怖じすることなくコミュニケーションが取れると思います。また現地の生活や文化について事前に知っておくこともとても大切です。何も知らなくて、いざ住むとなると環境が違いすぎてホームシックになることもあります。少しでも現地の情報を手に入れておいた方がいいと思います。私は、留学に行く前に留学に参加した人と会って留学について話を聞いてモチベーション向上をはかっていました。留学に参加した人はとても輝いているように見えて自分もいつかそのような姿になりたいと思いながら自分の留学に対する意識を高く保っていました。スペインに留学を希望する学生は留学が決まったら全力でスペイン語を勉強した方がいいです。なぜなら、私はスペインに行って言葉が通じなくてとても苦労しました。スペイン人は英語が話せると思うかもしれませんがほとんどの人は話せないのでスペイン語は必須です。